

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 26 年 1 月 23 日 (2014.1.23)

【公開番号】特開 2012-121242 (P2012-121242A)
 【公開日】平成 24 年 6 月 28 日 (2012.6.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-025
 【出願番号】特願 2010-274434 (P2010-274434)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/44 (2006.01)

H 0 4 N 1/23 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/00 M

H 0 4 N 1/23 1 0 3 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 25 年 12 月 4 日 (2013.12.4)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

レーザー光により主走査方向に走査する走査手段と、1画素の周期を示すクロックを出力するクロック出力手段と、1画素の画像データを出力する画像出力手段と、画像データを構成する画素から1画素単位で予め設定した数で分割した画素片を生成する生成手段と、前記生成手段により生成される画素片の単位で、前記走査手段による主走査方向の露光長が互いに等しくなるように画素片の挿抜制御を行う制御手段を備える画像形成装置であって、

主走査方向の画像の領域を、前記露光長を等しく制御するための倍率に応じて分割する分割手段と、前記分割手段による各分割領域における前記挿抜制御を行うための参照領域を設定する設定手段と、前記分割手段による各分割領域における前記挿抜制御を行う位置を参照領域の画像データの属性情報に応じて決定する決定手段とをさらに有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記設定手段により設定される参照領域は、前記分割手段による各分割領域に属する 1 ライン前の領域であることを特徴とする、請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記設定手段により設定される参照領域は、前記分割手段による各分割領域に属する副走査方向に複数ライン分の幅をもった領域であることを特徴とする、請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記設定手段により設定される参照領域は、前記分割手段による各分割領域に属する副走査方向に複数ライン分の幅をもった領域、および、前記領域の間の境界部分の副走査方向に複数ライン分の幅をもった領域であることを特徴とする、請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記決定手段は、前記設定手段に属する画素単位の属性情報の計数値または比率、あるいは前記設定手段に属する領域単位の属性情報に基づくことを特徴とする、請求項 1 記載

の画像形成装置。

【請求項 6】

前記決定手段は、主走査方向に挿抜する画素片を副走査方向に連続とするか、非連続とするかを決定することを特徴とする、請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 7】

前記決定手段が前記画素片を副走査方向に非連続とすると決定した場合、前記制御手段は乱数制御を用いることを特徴とする、請求項 6 記載の画像形成装置。

【請求項 8】

レーザー光により主走査方向に走査する走査手段と、1画素の周期を示すクロックを出力するクロック出力手段と、1画素の画像データを出力する画像出力手段と、画像データを構成する画素から1画素単位で予め設定した数で分割した画素片を生成する生成手段と、前記生成手段により生成される画素片の単位で、前記走査手段による主走査方向の露光長が互いに等しくなるように画素片の挿抜制御を行う制御手段を備える画像形成装置における画像形成方法であって、

主走査方向の画像の領域を、前記露光長を等しく制御するための倍率に応じて分割する分割工程と、前記分割工程による各分割領域における前記挿抜制御を行うための参照領域を設定する設定工程と、前記分割工程による各分割領域における前記挿抜制御を行う位置を参照領域の画像データの属性情報に応じて決定する決定工程とを有することを特徴とする画像形成方法。

【請求項 9】

請求項 8 記載の画像形成方法をコンピュータに実行させるプログラムを記憶した記憶媒体。

【請求項 10】

画像を主走査方向に複数の領域に分割する手段と、

前記分割する手段により分割された各分割領域における画素片挿抜制御を行うための参照領域を設定する手段と、

前記各分割領域における画素片挿抜制御を行う位置を参照領域の画像データの属性情報に応じて決定する手段とを有することを特徴とする画像形成装置。